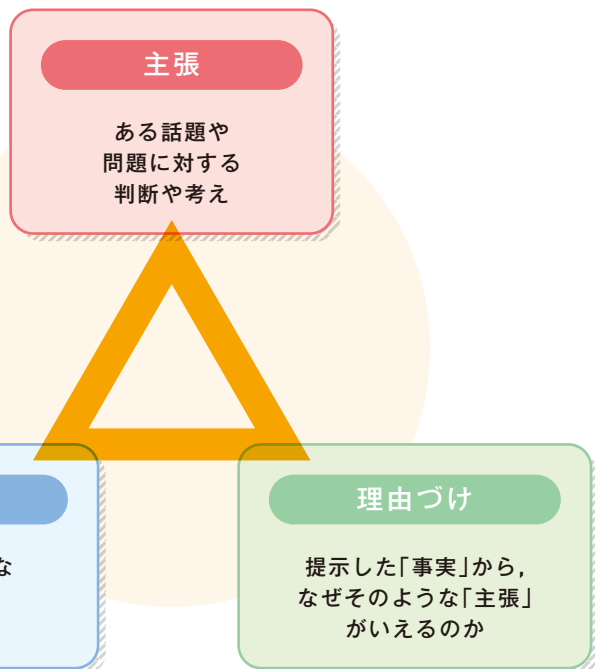


ことばの学び

別冊「読み方を学ぼう」活用編 No.2



どうやって活用すればいいの？

三角ロジック

新

中学校学習指導要領では、論理的に文章を読む力、互いの考えを深め合う力の育成がいつそう重視されています。

三省堂中学校国語教科書『現代の国語』では、そうした力を育てるために、「読み方を学ぼう」というコーナーでさまざまな方法を取り上げてきました。

ここでは、その中の一つである「三角ロジック」の意義と活用法についてご紹介します。

「三角ロジック」とは、判断や考えの筋道を「主張」「事実」「理由づけ」の三要素に分けて考えることで、自分の考えをより論理的なものにしたり、相手の考えの妥当性を吟味したりする方法です。

「主張」の部分には、ある話題や問題に対する判断や考えが入り、「事実」には、具体的・客観的な事例やデータが入ります。「理由づけ」は、提示した「事実」から、なぜそのような「主張」がいえるのかを示す部分であり、「事実」の解釈や、その人の価値観が反映されます。

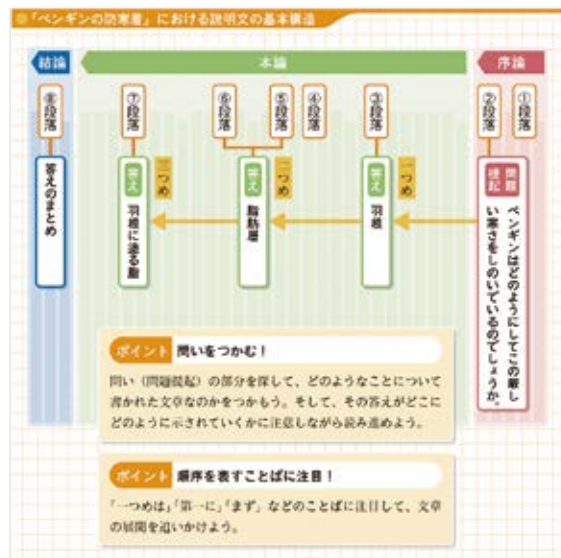
「三角ロジック」は、「読み方を学ぼう」の一つとして取り上げていますが、読むことにとどまらず、考えを筋道立てて表現したり、対話的に学びを深めたりする方法として、幅広く活用することができます。

平成28年度版

『現代の国語』では、こんな「読み方」も取り上げています。



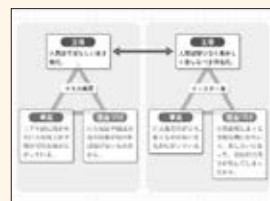
説明文の基本構造



基本構造を捉えると、説明の道筋や要点がよくわかる。
● 説明的文章を読むとき
● スピーチをするとき、スピーチを聞くとき

学習指導書「読み方を学ぼう」活用ガイド

各学年学習指導書同梱の「『読み方を学ぼう』活用ガイド」では、3学年全17本の読み方について、発問・生徒の反応・指導上のポイントなどを示しています。また、他の教材における活用や教科書以外のテキストを用いた活用の例を示しています。



指導者用デジタル教科書

指導者用デジタル教科書には、アニメーションによる解説資料を収録しています。



「読み方を学ぼう」一覧

学年	読み方	教材
1年	説明文の基本構造「ペンギンの防寒着」	クジラの飲み水 説明
	人物相関図	空中ブランコ乗りのキキ 物語
	図表と文章	食感のオノマトペ 説明
	三角ロジック	玄関扉 説明
	語り手	少年の日の思い出 小説
	情景描写	トロッコ 小説
2年	詩の構成	名づけられた葉 詩
	象徴	小さな手袋 小説
	段落の大小	人間は他の星に住むことができるのか 説明
	物語の転換点	平家物語(敦盛の最期) 古文
	例示	動物園でできること 評論
	視点人物	走れメロス 小説
3年	隠された意味	水のようなひと 詩
	対比	問の文化 評論
	回想	握手 小説
	小見出し	フロン規制の物語 論説
	人物設定	故郷 小説

株式会社三省堂

「教科書・教材サイト」<https://tb.sanseido.co.jp/>



〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 03-3230-9411(編集)・9412(営業)
● 大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 06-6341-2177
● 名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F 052-953-9211
● 九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 092-531-1531
● 札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F 011-616-8722



一年説明文教材

「玄関扉」の例

読み方を学ぼう 4

三角ロジック

主張・事実・理由づけ

「玄関扉」では、日本と欧米の玄関扉の開き方の違いを取りあげて、そこから筆者独自の考えを述べています。その中で、同じ事実をもとにしながら、正反対に見える二つの主張を示しています。なぜそのような考えが導き出されるのでしょうか。

「主張」「事実」「理由づけ」の三点に着目する「三角ロジック」を使って確かめてみましょう。

▼主張と事実と理由づけの三つを区別することによって、論理的に文章を読み解くことができる。

●「玄関扉」の三角ロジック

主張
欧米は、外来者を客として受け入れる文化だ。

事実
玄関のドアは、欧米では内側に開く。

理由づけ
「いらっしゃいませ」というように開くから。

主張
欧米は、外来者を敵として拒む文化だ。

事実
玄関のドアは、欧米では内側に開く。

理由づけ
外部からの侵入を防ぎやすいから。

同じ事実

日本の玄関のドアは、たいがい外に開くのに対し、欧米では例外なく、内側に開くのである。（24ページ・1行め）

131 読み方を学ぼう ④ 三角ロジック

三角ロジック活用のポイント

「事実」と「理由づけ」を区別するところがポイントだね。



必ずしも、本文の中に「理由づけ」が示されているわけではないね。そこから筆者のものの見方を推測できるね。

国語の学習の場面で…

他教科も含めた学習のさまざまな場面で…

先生の指導の際にも…

こんな場面でも活用できる！

小説を読むとき（「走れメロス」の場合）

本文をもとに解釈したこと

問い
メロスは、どうするべきか？

主張
何が何でも約束を守り、自分が処刑されるべきだ。

理由づけ
● 約束を守り、信頼に報いるのが人としての正しい生き方だから。
● 王に信実があることを見せつけたいから。

事実
● 日没までに戻らなければ身代わりの友人（セリヌティウス）が処刑されてしまう。
● 遅れていけばメロスは放免される。

自分の考え
本文に書かれていること

自分の意見を書くとき

主張
優先席をやめて、全ての席が優先席になると考えるべきだ。

事実
優先席をきまりごととして子どもに教えていた。

理由づけ
優先席がルールを生み、席をゆずる機会が減って、思いやりの心が育たないから。

グループで話し合うとき

主張

事実

理由づけ

生徒の発言を見取るとき

どこからそう思ったの？

A君とB君で理由づけの部分が違うってね。皆はどう思うかな。